

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 7 日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏 名	譲原晶子
研究課題	身体芸術と社会				
研究キーワード	舞踊、身体、社会、劇場と民間、プロとアマ、作品制作	当年度計画に対する達成度	3. 概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要 「身体芸術と社会」について、当初企画した通り、二つの側面からの研究（①歴史的研究、②実践的研究）の双方において、成果をあげることができた。 歴史的研究については、国際誌の査読付き論文を含む論文2編が採択された 実践的研究では、公演2回を主催し、新たな作品の在り方の研究から新作舞踊作品の発表も行なった。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 1) Why Were New Dances in the Early 20th Century So Often Described as <i>Plastique</i>?, Dance Research Journal, Cambridge University Press, 2025, in print. 2) フランス革命末期のサロン舞踏会におけるアントルシャの流行とその歴史的意味、『演劇学』80号, 日本演劇学会、2025年（印刷中） 【著書・論文（査読なし）】 『演劇の辞典』、「舞踊劇の展開」「バレエと社交舞踊」「ポストモダンダンスの歴史的意義」、丸善出版（編集中） 【学会発表等】 1) 「横田さやか著『未来派・飛行機・ダンス』を読む」、合評会、2024年10月18日、於：東京外国語大学 2) 「19世紀のコンテンポラリーダンス」、コンテンポラリーダンス科学研究会、2025年3月27日、於：専修大学 3) 日本舞踊劇「人でなしの恋」、台本、制作、プロデュース 4) 世代を超えて地域を超えてつながる朗読劇公演、主催 2025年2月24日、於：千葉商科大学 3. 主な経費 書籍、文献整理、旅費 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 科研費基盤研究（C）代表 社交舞踊の在り方から芸術舞踊史を捉え直す：社会と芸術の接点としての舞踏会 科研費基盤研究（C）分担 コンテンポラリーダンスの制度的基盤に関する比較分析 （本文は2ページ以内にまとめること）					